

行事予定表		
2	木	子育てサロン
7	火	七夕集会/写真撮影
8	水	笹焼き
9	木	交通安全教室(3・4・5歳児)
10	金	観劇(保護者会主催)
14	火	ピョピョひろば/巡回相談
15	水	お弁当デー
16	木	子育てサロン
17・18	金・土	お泊まり保育(5歳児)
28	火	ピョピョひろば
30	木	誕生会
31	金	避難訓練
30・31	木・金	中学生職場体験

* 今月は、水遊び・泥遊び・プール遊び等・心と身体の開放感を味わう活動を沢山計画していきます。



雨雲の向こうでは、夏の太陽と入道雲が出番を待っています。夏休みはすくそこ、さらめく夏がやって来ます。

水田の中で、弱弱しげに立っていた稲も大きくなって青々としてきました。子ども達も遅しく日焼けしてすっかり「ふたばっ子」らしくなりました。

シミジミした梅雨は嫌な季節ですが、色とりどりに咲く紫陽花が、心を明るくしてくれます。そんな季節でも子ども達は、晴れ間には外に飛び出し水遊びやドロンコ遊びに興じています。

保護者会主催の夏祭り

・現在役員の方々が夏祭りの内容を企画中です。お手伝いして下さる方も少しずつ増えています。まだ足りない状況です。出店の時間(15:30)にお手伝い頂ける方を再度募集集中です。どうぞ宜しくお願い致します。

今月の予定の中から...



●七夕集会・クラス写真撮影(7日)

・今年も、全園児でホールに集まり、七夕集会を行います。各クラスの願い事を発表したり、七夕の由来を伝えたり、パネルシアターを見る予定です。ご家庭でもこの機会に、夜空を見上げながらお子さんとの会話を楽しんでみてはいかがでしょうか？

●交通安全教室(9日)

・今月からは、3歳児以上の子ども達も参加します。今回は、信号の見方・渡り方を学びます。毎日の送迎の際には、チャイルドシートを必ず使用してお子さんの大切な命を守りましょう！

●観劇「ちから太郎」「絵姿にようぼう」

・保護者会主催の観劇です。昔話の心を大切にされる今井浩之さんの一人芝居は人形や小道具も見どころの一つです。子ども達に素敵な時間・空間を感じてもらえる事と信じています。

●お泊まり保育(17・18日)

・5歳児(ぞうグループ)が保育園でお泊まり保育の日が近づいてきました。夕飯と朝食のメニューの食材を西友まで、電車に乗って買い物に行きます。夕飯は飯盒炊飯とぞうグループスープに決まりました。ぞうグループの旗の製作や、キャンドル作り；当日への気持ち盛り上げていく為に色々な活動を行います。持ち物等、詳細に

ついては後日お知らせを配布致します。

☆お願い☆

・送迎の際の車の順路を守って頂いていますが？

正しい順路は青果市場の信号より入り、帰りのも同様に青果市場脇を通る順路です。くれぐれも、園庭下のつつじが丘保育園に繋がる道路を使用しないようお願い致します。

・土曜保育、早朝・延長保育の申請は前月の20日までとなっております。申請されていない方はご利用できませんので、ご了承ください。

・保育園に履いてくる靴は、運動靴(足に合った物)でお願いします。戸外で沢山遊ぶ子ども達には、クロックス、サンダル等足のつま先、かかとの出るものは向きです。

人は見かけによらないことが多い

人は外見から、人を評価し判断する。特に、初対面の人に対しては、第一印象で左右されることがある。服装や身なり、あいさつの仕方、言葉使い、表情から、その人がどういう人間か判断する。職業、身分(?)、地位等で、見かけが違うことが多いし、医者は何となく医者臭いし、教師は教師臭いし、ヤクザと政治家は明らかにその筋というような、似たような風体がある(と思う)。判断材料がない中から、まずは外見から判断するのはやむを得ないが、それは後で思い違いであることが往往にしてある。▼学生時代に、自分を試したくて東北・北海道を無銭旅行したことがある。当然移動はヒッチハイクである。街道沿いで、何時間も止まってくれる車を待って立って感じていたことがある。乗用車は止まってくれなかつた。止まってくれる車は、殆どトラックであった。特にダンブが多かった。見かけは怖いおじさんやお兄さんだったが優しかった。昼食をこ馳走してくれた。この時、人は見かけじゃないという経験をややと言うほど経験したのに、時と共に忘れていた。▼大学時代の友人が、東京に出てきたので、一泊伸ばして一杯やりたいと電話してきた。楽しいひと時を過ごした。東京からの帰りの電車は混んでいた。途中で子ども連れの若い夫婦が乗ってきた。お母さんはベビーカーを押し、お父さんは、パーマをかけサングラスをかけた二歳くらいのお姉ちゃんを抱っこしていた。子どもにこんな格好させて、と思った。しかも深夜に近い。若い夫婦の格好も、今時の若者らしく、ピアスをしてブカブカのズボン(いま時はパンツと言うのか)に、似合わない帽子を横にかぶっていた。あまり好ましい人種ではないと感じたが、大変そうなので席を譲ろうと声をかけた。「いえ、大丈夫です」と遠慮するが、(大丈夫ではなく、結構ですと言うんだ、と心の中で思いながら)さっと立って車内の奥の方に去った。今度は二人で「ありがとうございます」と大きな声でお礼を言われ、なんだかさつきまでの先入観(人種差別)が恥かしいほど、彼等に好印象を持った。しばらくすると若い夫婦の降車駅近くになり、奥の方で立っていた私のところまで、若いお父さんがやって来て、「ありがとうございました。助かりました」と礼を言った。私は周囲の人々の視線と、自分の心の内に、とても恥ずかしくなった。人は見かけで判断してはいけない。

理事長 浅田 精利

